

■ [B_性能壁リスト.rvt]のカスタム方法

■ 概要

[B_性能壁リスト.rvt]ファイルを利用して、性能壁凡例を編集・作成する方法について説明します。
必要となるのは[B_性能壁リスト.rvt]ファイルと、そのリストを使用したいプロジェクトデータです。
手順としてはまず始めに[B_性能壁リスト.rvt]を編集し、プロジェクトデータへ展開する流れとなります。

■ [B_性能壁リスト.rvt]プロジェクトにて使用したい性能壁凡例を作成する方法

1.) [材料登録]と[両面壁]のツールが使えるようにするために、事前準備をする

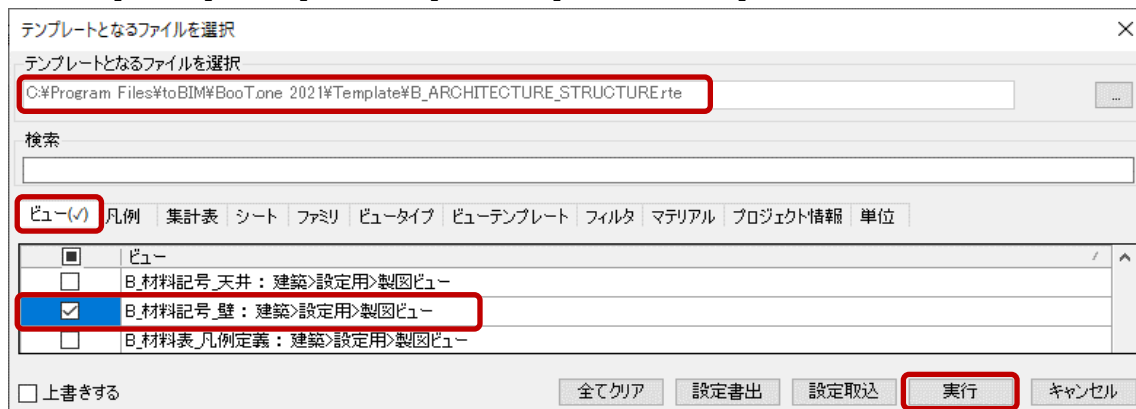
[材料登録]ツールの起動のために必要なデータ

- ・[B_材料表.rfa] … ファミリカタログからロードする

[両面壁]ツールの起動のために必要なデータ

- ・[B_タグ_壁_壁符号_内側.rfa] … こちらは[B_性能壁リスト.rvt]に既にロード済み
- ・[B_タグ_壁_壁符号_外側.rfa] … ファミリカタログからロードする
- ・製図ビュー [B_材料記号_壁]

… [B.共通]タブ → [メンテナンス]パネル → [テンプレート更新]ツールでBooT.oneテンプレートから挿入



2.) マテリアルを[材料登録]ツールにて編集・登録する

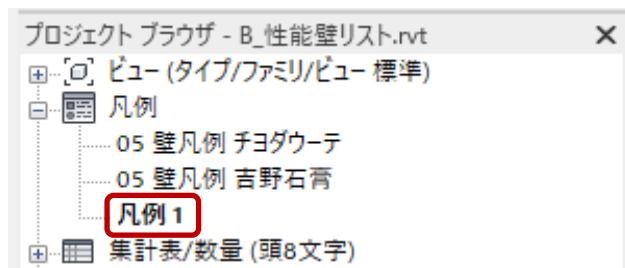


[\[材料登録\]ツールの使用法はツールヘルプをご覧ください。](#)

既存のマテリアルを使用して材料登録する方法は 公開資料[材料表-既存マテリアルの活用方法.pdf] をご覧ください。

3.)登録したマテリアルを使用して性能壁を登録する

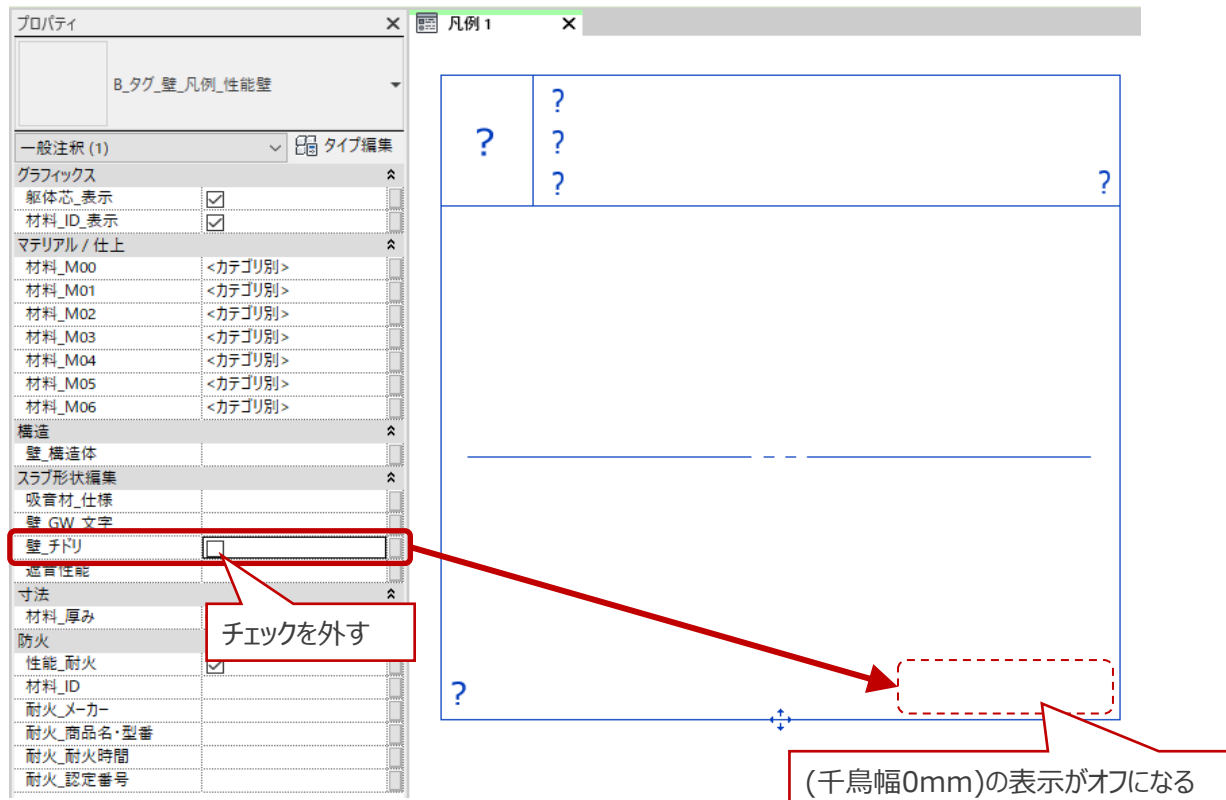
①[表示]タブ → [作成]パネル → [凡例 ▼] → [凡例]ツールにて新規の凡例ビューを作成する(スケール 1:20)



②プロジェクトブラウザ → ファミリー → 注釈記号 → [B_タグ_壁_凡例_性能壁]を選択し、凡例ビューに配置する



③配置した性能壁タグのプロパティ → [壁_チドリ]のチェックボックスを外す (チドリの設定がある場合はあとで行う)



④性能壁タグのプロパティに必要な情報を入力・設定する。

材料_M00～材料_M06に割り当てるマテリアルは必ず[材料登録]ツールで登録したマテリアルを使用する。

壁記号(壁_構造体)は頭文字がX,Y,Zと半角数字3桁までの組み合わせのみ可能。

X001 → ○ Y01 → ○

AK04 → × T-19 → ×

プロパティ

B_タグ_壁_凡例_性能壁

見本

一般注釈 (1)

グラフィックス

躯体芯_表示

☒

材料_ID_表示

☒

マテリアル / 仕上

材料_M00

-

材料_M01

BT_不燃GBt15

材料_M02

BT_不燃GBt15

材料_M03

BT_LGS100

材料_M04

BT_不燃GBt15

材料_M05

BT_不燃GBt15

材料_M06

-

構造

壁_構造体

X001

スラブ形状編集

吸音材_仕様

GW t100/16kg/m3

壁_GW_文字

G

壁_チドリ

☐

遮音性能

TLD99

寸法

材料_厚み

0.00

防火

性能_耐火

☒

材料_ID

50

耐火_メーカー

BooT.one

耐火_商品名・型番

耐火壁シリーズ

耐火_耐火時間

1

耐火_認定番号

FP99NP-9999

X001

BooT.one : 耐火壁シリーズ

1時間耐火 : FP99NP-9999

遮音性能:TLD99 (GW t100/16kg/m3)

ID:50

Tips 性能壁タグの編集上の注意とプロパティの関連

プロパティ

B_タグ_壁_凡例_性能壁

一般注釈 (1) ▼ タイプ編集

グラフィックス

躯体芯_表示 ☒

材料_ID_表示 ☒

マテリアルと仕上げ

材料_M00 -

材料_M01 強化GB t12.5

材料_M02 強化GB t12.5

材料_M03 LGS65

材料_M04 強化GB t12.5

材料_M05 強化GB t12.5

材料_M06 -

構造

壁_構造体 X00

スラブ形状編集

吸音材_仕様 GW t50/24kg/m3

壁_GW_文字 G

壁_チドリ ☒

遮音性能 TLD52

寸法

材料_厚み 75.00

防火

性能_耐火 ☒

材料_ID 15

耐火_メーカー チョダ

耐火_商品名・型番 耐火ウォール12C・G

耐火_耐火時間 1

耐火_認定番号 FP060NP-0415(2)

[材料登録]ツールで登録したマテリアルを割り当てる

パラメータ[壁_構造体] は壁記号を表している
性能壁で設定できる記号は
X,Y,Z と 3桁までの数字の組み合わせ
(他のアルファベットの使用は不可)

X00	チョダ：耐火ウォール12C・G 1時間耐火：FP060NP-0415(2) 遮音性能:TLD52 (GW t50/24kg/m3)
ID:15	(千鳥幅75mm)

壁タグ用のパラメータ

X00	チョダ：耐火ウォール12C・G 1時間耐火：FP060NP-0415(2) 遮音性能:TLD52 (GW t50/24kg/m3)
	躯体芯の表示がオフになる (千鳥幅75mm)

プロパティ

B_タグ_壁_凡例_性能壁

一般注釈 (1) ▼ タイプ編集

グラフィックス

躯体芯_表示 ☐

材料_ID_表示 ☐

材料IDの表示がオフになる

4.) [両面壁] ツールで性能壁のタイプを追加する。

① 作業用1FLのビューを開き、[建築]タブ → [構築]パネル → [壁▼] → [壁 意匠] ツールにて壁を配置する。



壁のタイプは単純構成の壁を選択(RC180など)

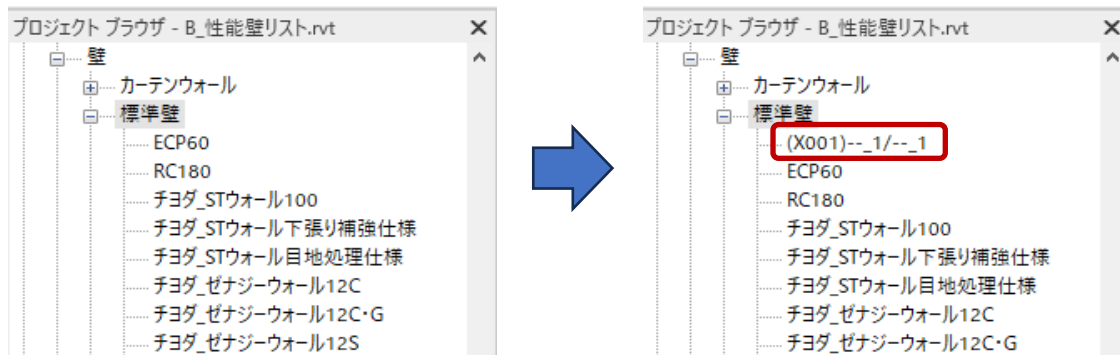
② [B.建築]タブ → [壁]パネル → [両面壁]ツールを起動し、構造体のプルダウンメニューで 3.)で作成した性能壁を選択し、[OK]をクリックする。



③ 性能壁が生成され、プロジェクトブラウザ → ファミリ → 壁 → 標準壁に②で選択した性能壁のタイプが増える。

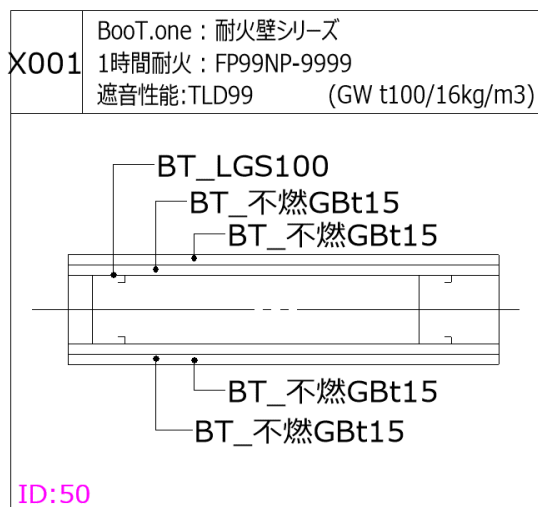


性能壁が生成される

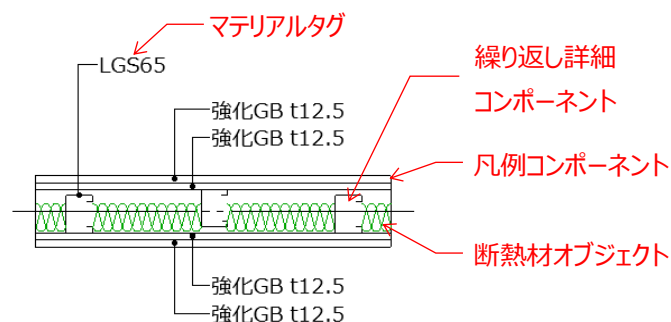


5.)凡例を作成する

下図のように壁の凡例を作成します。



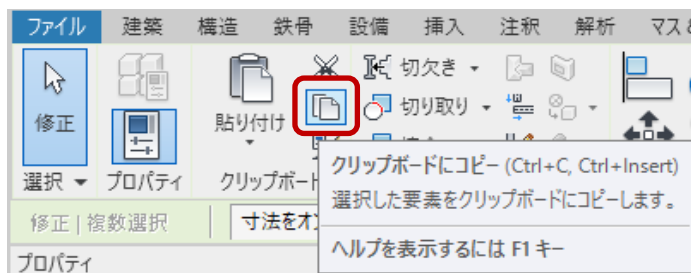
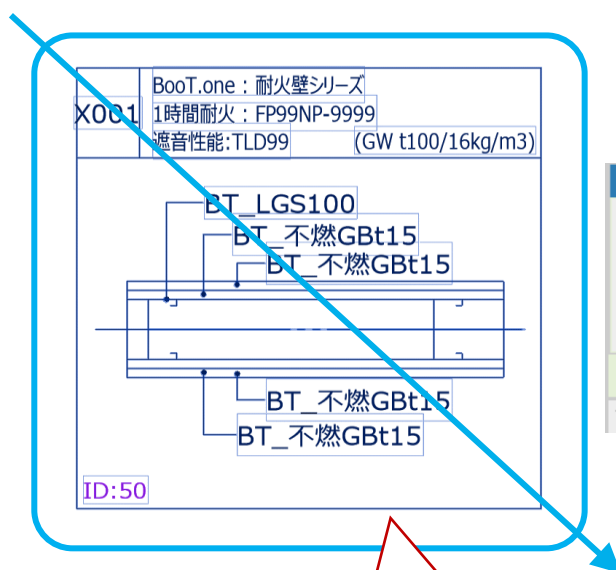
壁	凡例コンポーネント
断熱材	断熱材オブジェクト
LGS	繰り返し詳細コンポーネント
タグ	マテリアルタグ



※壁の凡例の作成方法はツールヘルプをご覧ください。

6.)以上でカスタムした性能壁が完成となる

7.)完成した凡例をクリップボードにコピーする



左上から右下へドラッグアンドドロップして
凡例を選択する

■ カスタム作成した壁凡例をプロジェクトへ反映させる方法

- 1.) カスタム作成した性能壁を使用したいプロジェクトデータを開く
- 2.) [B.建築]タブ → [壁]パネル → [設定▼] → [性能壁登録]ツールを実行し、[A05_壁凡例]ビューを開く
- 3.) [修正]タブ → [クリップボード]パネル → [クリップボードから貼り付け]ツールで、壁凡例を貼り付ける

プロジェクト ブラウザ - プロジェクト1

- ビュー (標準)
- 凡例
 - A04_外部仕上表_00_タイトル_見出
 - A04_外部仕上表_00_見出
 - A04_外部仕上表_01_床
 - A05_壁凡例**
 - A11_平面 ヒット
 - A11_立断面記号
 - A12_立面

X01 吉野石膏: B15 1時間耐火: FP060NP-0174 ID: 27	X02 吉野石膏: Sウォール標準仕様 1時間耐火: FP060NP-0007 ID: 56
X001 BooT.one: 耐火壁シリーズ 1時間耐火: FP99NP-9999 遮音性能: TLD99 (GW t100/16kg/m3) ID: 50	

4.) 材料情報を更新する

貼り付け先のプロジェクトに材料登録されていないマテリアルを使用した性能壁をコピーした場合は、[B_性能壁リスト.rvt]から貼り付けされただけでは、貼り付け先のプロジェクトに材料登録されていません。そのため、[材料登録]ツールを起動し、材料情報を更新する必要があります。

※貼り付け先のプロジェクトと[B_性能壁リスト.rvt]で使用するマテリアルが同じ場合は、材料情報の更新作業は不要です。

- ① [B.建築]タブ → [マテリアル]パネル → [マテリアル編集▼] → [材料登録]ツールを起動して、[OK]をクリックする。
⇒ 材料情報が更新される

仕上材の登録

床 壁 天井 幅木 腰壁 廻縁 共通 断熱 防水 その他 外部

構造 下地 仕上 その他

ステータス	名称	厚さ	寸法	認定番号	メーカー	商品名
非表示	ALC125_横	0				
非表示	ALC100_横	0				
非表示	LGS100	100				
非表示	LGS90	90				
非表示	LGS80	80				
非表示	LGS65	65				
非表示	ECP75	75				
非表示	ECP60	60				
非表示	ALC150	150				
非表示	ALC125	125				
非表示	ALC100	100				
非表示	CB150	150				
非表示	CB120	120				
非表示	CB100	100				
非表示	LGS105	105				
使用中	BT_LGS100	100				

☒ 材料を登録させる。

新規作成 複製 編集 削除 表示/非表示 ▲ ▼ 既存マテリアル

OK キャンセル

②材料表にマテリアルが反映される

A04_材料表_マテリアル_作業用_部位... X

2002000	■壁 下地	-2002003	モルタル等
2002000	■壁 下地	-2002002	薄塗りモルタル
2002000	■壁 下地	-2002001	亜鉛鉄板 t0.8
2002000	■壁 下地	2002004	保護ボード
2002000	■壁 下地	2002005	強化GB t12.5
2002000	■壁 下地	2002006	強化GB t15
2002000	■壁 下地	2002007	強化GB t21
2002000	■壁 下地	2002008	強化GB t25
2002000	■壁 下地	2002009	硬質GB t9.5
2002000	■壁 下地	2002010	準不燃防水GB t12.5
2002000	■壁 下地	2002011	繊維強化GB t8
2002000	■壁 下地	2002012	FK t8

2003000	■壁 構造	-2003019	ECP75_横
2003000	■壁 構造	-2003018	ECP60_横
2003000	■壁 構造	-2003017	ALC150_横
2003000	■壁 構造	-2003016	ALC125_横
2003000	■壁 構造	-2003015	ALC100_横
2003000	■壁 構造	-2003014	LGS100
2003000	■壁 構造	-2003013	LGS90
2003000	■壁 構造	-2003012	LGS50
2003000	■壁 構造	-2003011	LGS65
2003000	■壁 構造	-2003010	ECP75
2003000	■壁 構造	-2003009	ECP60
2003000	■壁 構造	-2003008	ALC150
2003000	■壁 構造	-2003007	ALC125
2003000	■壁 構造	-2003006	ALC100
2003000	■壁 構造	-2003005	CB150
2003000	■壁 構造	-2003004	CB120
2003000	■壁 構造	-2003003	CB100
2003000	■壁 構造	-2003001	LGS105

A04_材料表_マテリアル_作業用_部位...

2002000	■壁 下地	-2002003	亜鉛鉄板 t0.8
2002000	■壁 下地	-2002002	薄塗りモルタル
2002000	■壁 下地	-2002001	モルタル等
2002000	■壁 下地	2002004	BT_不燃GBt15
2002000	■壁 下地	2002005	保護ボード
2002000	■壁 下地	2002006	強化GB t12.5
2002000	■壁 下地	2002007	強化GB t15
2002000	■壁 下地	2002008	強化GB t21
2002000	■壁 下地	2002009	強化GB t25
2002000	■壁 下地	2002010	硬質GB t9.5
2002000	■壁 下地	2002011	準不燃防水GB t12.5
2002000	■壁 下地	2002012	繊維強化GB t8
2002000	■壁 下地	2002013	FK t8

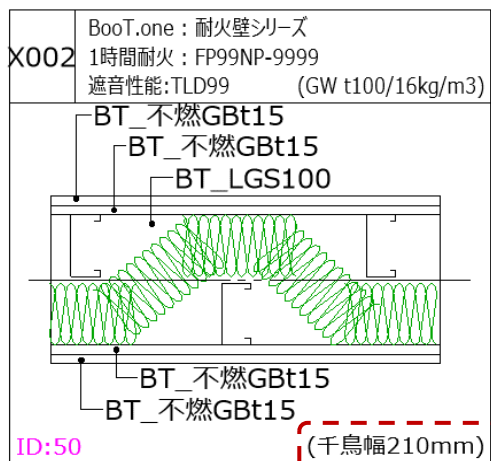
2003000	■壁 構造	-2003018	LGS105
2003000	■壁 構造	-2003017	CB100
2003000	■壁 構造	-2003016	CB120
2003000	■壁 構造	-2003015	CB150
2003000	■壁 構造	-2003014	ALC100
2003000	■壁 構造	-2003013	ALC125
2003000	■壁 構造	-2003012	ALC150
2003000	■壁 構造	-2003011	ECP60
2003000	■壁 構造	-2003010	ECP75
2003000	■壁 構造	-2003009	LGS65
2003000	■壁 構造	-2003008	LGS50
2003000	■壁 構造	-2003007	LGS90
2003000	■壁 構造	-2003006	LGS100
2003000	■壁 構造	-2003005	ALC100_横
2003000	■壁 構造	-2003004	ALC125_横
2003000	■壁 構造	-2003003	ALC150_横
2003000	■壁 構造	-2003002	ECP60_横
2003000	■壁 構造	-2003001	ECP75_横
2003000	■壁 構造	2003019	BT_LGS100

Tips 千鳥配置の性能壁を作る

千鳥配置の性能壁を作成する際は、性能壁の構造体の厚みを変更して登録する。

構造体の厚みを任意の数値にするには、[壁_チドリ]のパラメータにチェックを入れ、[材料_厚み]のパラメータに数値を入力する。
[壁_チドリ]にチェックが入ると、[材料_M03]に割り当てたマテリアルの厚みではなく、[材料_厚み]の数値が反映される。

プロパティ	
B_タグ_壁_凡例_性能壁	
一般注釈 (1) タイプ編集	
グラフィックス	
躯体芯_表示	☒
材料_ID_表示	☒
マテリアル / 仕上	
材料_M00	-
材料_M01	BT_不燃GBt15
材料_M02	BT_不燃GBt15
材料_M03	BT_LGS100
材料_M04	BT_不燃GBt15
材料_M05	BT_不燃GBt15
材料_M06	-
構造	
壁_構造体	X002
スラブ形状編集	
吸音材_仕様	GW t100/16kg/m3
壁_GW_文字	G
壁_チドリ	☒
遮音性能	TLD99
寸法	
材料_厚み	210.00
防火	
性能_耐火	☒
材料_ID	50
耐火_メーカー	BooT.one
耐火_商品名・型番	耐火壁シリーズ
耐火_耐火時間	1
耐火_認定番号	FP99NP-9999



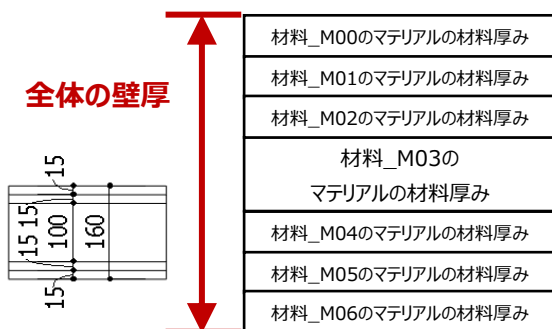
①チェックを入れる⇒タグに千鳥幅の注記が表示される

②数値を入力する
⇒千鳥幅の注記の厚みに数値が反映される
性能壁の[材料_M03]の厚みとして認識される ★1

千鳥配置の仕様に設定した性能壁を[両面壁]ツールで生成した場合、全体の壁厚も変更される。

[壁_チドリ]にチェックなし

[材料_M01 ~ 材料_M06]のマテリアルの材料厚みの合計値が全体の壁厚となる。



マテリアルの材料厚み ≡ 性能壁の[材料_厚み]

[壁_チドリ]にチェックあり

[材料_M03]のマテリアルの材料厚みではなく、性能壁の[材料_厚み]が反映され、全体の壁厚も変更される。

